

本日、ここに平成23年第1回市議会臨時会が開会されるにあたり、最近の市政の状況と提案いたしました議案につきまして、ご説明申し上げます。

はじめに、先月政府が決定いたしました、平成23年度国の当初予算案についてであります。歳出において社会保障関係費が一般歳出全体の2分の1を超えるとともに、国債発行額が2年連続で税収を上回り、さらには、国と地方の長期債務が23年度末で国内総生産の1.8倍に及ぶ見通しとなるなど、危機的な状況となっております。

また、我が国の経済・雇用情勢についても、円高やエコカー補助金の終了、エコポイント制度の縮小などにより、景況判断指数もマイナスが大きくなる見通しであり、雇用情勢も依然として厳しい状況にあることから、国に対しましては、国民が将来に不安を感じることなく安心して暮らせるよう、日本経済の成長を促す地に足のついた政策の提示と、経済政策の抜本の見直しを期待するものであります。

このような経済状況下において、市長就任より1カ月半が過ぎましたが、日々課せられた使命の大きさ、重責を厳粛に受けとめ、市民福祉の向上、市政発展に邁進してまいりたいと考えております。

つきましては、現在予算編成中の本市の「平成23年度当初予算」におきまして、先の定例会でも申し上げました、基本施策の実現に向けたスタートの年として、将来にわたり持続可能な行財政運営の確立を念頭に、財政支出を平準化しながら、11万市民のさらなる融和と一体感の醸成を図る施策の実現に向け、平成26年度の合併10年目を節目として、今後、年次ごと計画的に取り組んでまいりたいと考えており、議会の皆様のご理解と、ご協力を心よりお願いをするものであります。

次に、「常陸宮賜杯第61回中部日本スキー大会」についてであります。

今月28日から30日にかけて、白峰アルペン競技場及びクロスカントリー競技

場において開催されます同大会につきまして、東海北陸7県より、選手・監督・役員等総勢860名余りが参加し、中部日本最大のスノースポーツの祭典として、熱戦が繰り広げられるものであります。

つきましては、大会運営に万全を期すとともに、地元選手の皆様には、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮し活躍されることを、大いに期待するものであります。

それでは、今臨時会に提案いたしました諸議案につきまして、その大要をご説明申し上げます。

提出案件は、補正予算案8件、条例案1件の計9件であります。

はじめに、議案第1号から第8号の補正予算案についてであります。

まず、一般会計につきましては、国の円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策としての補正予算に係るものとしたしまして、市道改良や土地区画整理事業、北陽小学校、鳥越小学校の大規模改修地震補強事業などの進捗を図るとともに、市民の健康の保持増進に繋がる予防接種事業では、子宮頸がんやヒブワクチン等の接種について全額公費で実施できるよう所要の経費を措置するなど、11億6,727万7千円を計上するものであります。

また、住民生活にとって大事な分野である、DV対策や自殺防止緊急対策事業について、国の「住民生活に光をそそぐ交付金」を活用するとともに、図書館機能の充実、保育所、小・中学校の児童・生徒の感性や情操を育むための図書の充実に要する経費など、4,600万円を計上いたします。

さらには、地域経済の活性化を図るため、国の「きめ細かな交付金」を活用し、老人福祉施設や市立保育所、観光施設や小中学校の校舎改修事業並びに、市道・林道整備、漁港の航路安全対策事業など、2億410万円を計上するものであります。

加えて、人事院勧告の実施等による人件費の減額と合わせて、一般会計といたしまして、総額21億7,583万7千円を増額補正いたすものであります。

また、特別会計につきましては、国民健康保険特別会計では、退職被保険者等療

養給付費の増額をはじめ、4つの特別会計で総額2億5,761万5千円を増額補正するとともに、水道事業会計など3つの企業会計におきましては、人事院勧告の実施等による人件費の減額や、借入利率の確定に伴う公債費の調整などにより、5,280万1千円を減額補正いたすものであります。

次に、議案第9号の条例案について、ご説明申し上げます。

「白山市観光施設条例の一部を改正する条例」につきましては、獅子吼高原センターの効率的な運営を図るため、指定管理者による管理に変更することとし、所要の改正を行うものであります。

以上をもちまして、今臨時会に提出いたしました議案の説明を終わりますが、何卒慎重にご審議の上、適切なるご決議を賜りますようお願い申し上げます。